

つばさだより 7月号

港区適応指導教室

<つばさ教室>

平成25年7月3日発行

港区東麻布2-1-1 電話：3589-2071

HPアドレス；<http://www1.r3.rosenet.jp/tsubasa/>

家庭科体験（お弁当づくりと巾着袋の製作）

調理実習で「お弁当づくり」を行いました。また、製作では、5月の「ポケットティッシュカバー」作りに引き続き、6月は「巾着袋」作りに取り組みました。どちらも「お弁当」が共通のテーマです。

つばさ教室は、子供たちも指導員も昼食はお弁当です。おにぎりを持ってくる人もいますし、サンドイッチが大好きという人もいます。それぞれ違うメニューのお弁当を持ち寄り、仲よくおしゃべりしながらの楽しいランチタイムです。



中学生には、できれば栄養のバランスを考えたお弁当を、自分で作れるようになってほしいとの願いがあります。



今回のお弁当づくりのメニューは、出し巻き玉子、ホウレンソウのお浸し、ハンバーグ、ゴボウと高野豆腐の煮物、そして子供たちが育てたミニトマトです。それぞれが持参したお弁当箱に、きれいに盛り付け、それをおいしくいただくまでが本時の学習です。

「あー、目が痛い」と、玉ねぎをみじん切りにしたり、「端のところを揃えてね」と、茹でたホウレンソウを切ったり、子供たちは、思っていた以上に、手際良く取り組んでいきました。大量のひき肉も、時間をかけて上手にこねました。気持ちがすっかり込められていたからでしょう、ハンバーグもふっくらと仕上がりに、特別美味しく感じられました。



◇生徒の感想文を紹介します。

大変だったことは、玉ねぎを切ることと、ひき肉を混ぜるところです。玉ねぎは、みじん切りにしているときに、涙が出て大変でした。ハンバーグをこねるのが、とても楽しかったです。玉子焼きは難しかったです。丸いフライパンでしたが、工夫をすればできました。

家でも作りたいなあと思いました。また、やりたいです。(中2 女子)

○つばさ教育相談室

「田代先生は、いらっしゃいますか」と積極的に相談員の田代先生と関わり、相談している子供がいます。また、自分からは、なかなか相談に行けない子供には、相談員がそっと声をかけている姿を目にします。



つばさ教室にも、教育相談室があり、専門の教育相談員が配置されていることを御存知でしょうか。

不登校の子供たちは、友達や教師、家族との人間関係などで、深刻な悩みを抱えている場合があります。また、先の見えない不安や対応についての迷いの中で、心が揺れている保護者の方もいらっしゃいます。子供たちは勿論のことですが、保護者の方を支えていくことの大切さも実感しています。

また、子供たちとの関わりにおいては、特に細かな気遣いや工夫が求められます。相談室では、手作りの質問カードを使用したり、知育玩具を利用したりして、ソーシャルスキルトレーニングを実施しています。今後、相談室の環境整備も進めていく予定です。

指導員と相談員が連携して、無理なく継続できるペースを見付け、「待つ」「見守る」と「関わる」ことのバランスを子供一人一人の実態に合わせ、子供が求める対応を模索しながら、学校復帰に向けて日々取り組んでいます。

===== 掲 示 板 =====

◆収穫祭 (ジャガイモ掘り) 7月16日 (火)

ジャガイモ掘りの後、ジャガイモ料理で収穫を祝います。

◆こども平和まつり・理科体験活動 7月26日 (金)

御成門小学校で行われる港区こども平和まつりに参加します。午後にはつばさ教室に戻り、「寒剤の活用」をテーマに、理科体験を行います。

◆つばさ教室 生活ハンドブックを配布しました。

時間をかけ、生活ハンドブックの内容について、子供たちと読み合いました。御家庭でも、この機会にぜひお子さんと一緒に、内容を御確認いただきたいと思えます。